

## バター餅で点伸び～る

### 北秋田市業者団体 地元の受験生に贈呈



北秋田市の菓子製造業者らでつくる日本バター餅協会（湊屋啓二会長）は、高校入試を控えた市内の中学校3年生と義務教育学校9年生に、餅のように点数が「伸びる」との願いを込めて、合格祈願のバター餅を贈った。

特別包装のバター餅は、咲いたサクラの花と「点数がのび～る 祈 合格」の文字をあしらった。受験後に「ニコニコ」笑顔でいられるようにと、1人2個ずつ贈った。



このうち鷹巣中学校には1月31日、湊屋会長とバター餅のイメージキャラクター「バタもち」が訪れ、鷹巣神社で合格を祈願したバター餅が菊地咲貴子さん(14)に手渡された。

湊屋会長は「バター餅も厳しい審査を経て認定される商品。ぜひ皆さんで食べてもらいたい。体調に気を付けて、全員の合格を心から祈っている」と激励した。

生徒を代表し、戸澤侑慶さん(15)が「地域の皆さんに応援してもらっているという感謝の気持ちを力に変え、勉強に集中して取り組

みたい」と決意表明。3年生全員に向けて「皆さん、バター餅を食べて粘り強く、実力と点数を伸ばしていけるよう、頑張ってください」と呼びかけた。

最後に、生徒たちがクラスごとに笑顔でバタもちと記念写真に納まった。

協会は、地元の受験生を応援するとともにバター餅の普及・PRにつなげようと、2012年度から高校受験を控えた生徒にバター餅を贈っている。今年は30日に義務教育学校阿仁学園と森吉中、31日に鷹巣、合川両中で贈呈した。（小松田直嗣）

(令和7年2月4日(火)秋田魁新聞より一部抜粋)